



信越病院

2016年 10月 第57号

小児科ニュースレター

電話番号 (026) 255-3100 (代)

http://shin-etsu-hsp.jp



長野赤十字病院研修医、板垣惟 (イタガキ タダシ) 先生

今号は10月3日～15日に研修に来ていた板垣先生に書いていただきました。



RSウイルスにご注意ください！！

気温が徐々に下がり肌寒くなりましたね。咳をしているお子さんも増えてきているようです。秋から冬にかけて流行る病気としてRSウイルス感染症があります。今年も過去最多だった昨年を上回るペースで流行しているようです。小さなお子さんでは重症化することもあります。RSウイルス感染症の事を知り、予防をしましょう。

昨年4月から長野赤十字病院で働いています。今回初めて信濃町を訪れました。ちょうど稲刈りの時期で、目の前いっぱい広がる黄金色の稲穂をみたときは圧倒されました。夏は野尻湖でキャンプをしたり、冬は黒姫高原や妙高高原にスキーをしに来たりと訪れる場所はたくさんありますね。スキー場はもっぱら白馬のほうへ行っていましたが、こちらのほうにも来てみようかなと思いました。

<RSウイルス感染症とは>RSウイルスによる感染症で0歳児と1歳児が発病しやすく、何度も感染と発病を繰り返します。2歳までにはほぼ100%のお子さんが少なくとも一度は感染するといわれています。

<症状>感染してから2～8日後に熱がでたり、鼻水や咳が数日続きます。多くは軽症で、初感染の乳幼児の7割が数日のうちに治ります。約3割は咳が悪化し、喘鳴(ぜーぜー)や呼吸困難症状がでてきます。細気管支炎や肺炎になってしまうこともあります。

<治療方法>特効薬はなく、咳や鼻水などの症状を和らげる対症療法になります。

<感染経路>ウイルスに感染している人の咳やくしゃみ、又は会話をした際に飛び散る唾液を吸い込む飛沫感染や、ウイルスがついている手指や物(ドアノブ、手すり、スイッチ、机、いす、おもちゃなど)を触ったりなめたりすることによる接触感染で感染します。

<予防方法、注意すること>ワクチンはありません。重症化のリスクがある早産の赤ちゃんには発症予防の薬(ウイルスに対する抗体)を注射します。小さい子ほど重症になるので、咳や鼻水の症状がある年長児や成人はなるべく接触を避けるか、マスクをして接触するようにしましょう。また、おもちゃや手すりなどをこまめにアルコール消毒したり、石鹸による手洗いをこころがけましょう。

外来時間のご案内

【10月の休診】

受付時間		月	火	水	木	金
午前	8時15分 - 11時30分	○	○	○	○	○
	診療開始は8時45分					
午後	1時 - 2時	/	/	/	/	/
	2時 - 3時	予防接種 (予約制)	相談外来 (予約制)	相談外来 (予約制)	予防接種 (予約制)	
	3時 - 3時30分	○				
	3時30分 - 4時30分	/	/	○	○	

4日(火) 午後 柏原保育園健診
 11日(火) 午後 古間保育園健診
 18日(火) 午後 富士里保育園健診
 20日(木) 午後 乳児健診
 27日(木) 28日(金)



日本児童青年精神医学会

【信濃小中学校訪問】

26日(水) 13～15時

インフルエンザの接種時間については前ニュースレター56号を参照して下さい。